

都市再生整備計画 事後評価シート
福島都心地区

平成23年3月

福島県福島市

様式2-1 評価結果のまとめ

| | | | | | | | |
|-------|---------------|----------|--------|--------------|-----------|-----|----------|
| 都道府県名 | 福島県 | 市町村名 | 福島市 | 地区名 | 福島都心地区 | 面積 | 270.0 ha |
| 交付期間 | 平成18年度～平成22年度 | 事後評価実施時期 | 平成22年度 | 交付対象事業費(百万円) | 2784.3百万円 | 国費率 | 0.412 |

| | | | | | | | |
|-----------|------------------|---|--|--|-------------------------------|--|--|
| 1)事業の実施状況 | 当初計画に位置づけ、実施した事業 | 基幹事業 道路:栄町置賜町線、矢剣町渡利線、腰浜町町庭坂線 提案事業 なし | 事業名 道路:栄町置賜町線、腰浜町町庭坂線 高質空間形成施設: 緑化施設 道路高質化空間整備、緑化施設 ポケットパーク | | | | |
| | 当初計画から削除した事業 | 基幹事業 地域生活基盤施設:自転車駐輪場 高質空間形成施設: 電線類地下埋設施設(栄町置賜町線 他1路線) 緑化施設 街なかサイン | 事業名 | 削除/追加の理由 | 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 | | |
| | 新たに追加した事業 | 基幹事業 道路:栄町・曾根田町線 地域生活基盤施設:小規模緑地 高質空間形成施設: 栄町置賜町電線類地中化、歩行者支援施設、障害者誘導施設 置賜町線、置賜町天神1町号線、駅東口通路段差解消 | 事業名 | 計画の見直しにより削除 | 歩行者・自転車通行量の指標に関係するが、数値目標は据え置く | | |
| | 提案事業 | なし | 事業名 | | | | |
| | 提案事業 | 地域創造支援事業:自転車利用促進事業、上水道整備事業、下水道整備事業、駅前広場モニュメント設置事業、旧米沢藩米蔵復原事業、まちの彫刻利活用事業 事業活用調査:中心市街地における活性化調査 | 事業名 | 道路:福島駅東口の未整備道路を歩行者の回遊軸として道路改築を追加 道路事業整備に併せ、新設で上下水道を整備する必要が生じたため事業を追加 地域生活基盤施設:回遊性を高めるために事業を追加 高質空間形成施設:市道を整備し、歩行者及び自転車の回遊性向上させるため追加 | 歩行者・自転車通行量の指標に関係するが、数値目標は据え置く | | |
| 交付期間の変更 | 当初 変更 | 平成18年度～平成22年度 - | 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響 | | - | | |

| 指標 | 単位 | 従前値 | | 目標値 | | 数値 | | 目標達成度 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ予定時期 |
|-----|-------------|------|--------|--------|--------|-----|--------|-------|------------|---|-------------|
| | | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | | | | | | |
| 指標1 | 歩行者・自転車通行量 | 人/日 | 60,200 | H16 | 63,200 | H22 | 43,311 | × | あり なし | 回遊できる道づくりや自転車駐輪場整備により、通行量の増加が期待されたが、目標には至らなかった。ただし、自転車駐輪場に監視カメラ・照明灯を設置し防犯に対する安心感は高まった。 | H23.7 |
| 指標2 | レンタサイクル利用者数 | 人/年 | 18,062 | H16 | 20,000 | H22 | 17,027 | × | あり なし | 歩道の整備、回遊できる道づくり、駐輪場の防犯設備を充実させることでレンタサイクルの利用者数の増加が期待されたが、PR事業の不足のため利用者が限定されており、本指標を達成できなかった。なお、レンタサイクル登録者数の累計は、年々増加しており登録者の定期的な利用が求められる。 | H23.4 |
| 指標3 | 中心市街地居住人口 | 人/年 | 14,106 | H16 | 14,800 | H22 | 14,624 | △ | あり なし | 上下水道整備や道路整備等により、中心市街地の居住人口は増加傾向にあるが目標値は達成しなかった。しかし、全事業完了後、中心市街地の魅力がさらに増し、人口増加が想定される。 | H23.10 |

| 指標 | 単位 | 従前値 | | 目標値 | | 数値 | | 目標達成度 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ予定時期 |
|---|-----------------|------|--------|--------|-----|----|--------|-------|------------|---|-------------|
| | | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | | | | | | |
| その他の数値指標1 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況 | 福島駅東西自由通路歩行者通行量 | 人/日 | 9,452 | H16 | | | 9,824 | | | 東西自由通路整備と中心市街地内の各種整備による中心市街地の魅力向上により、福島駅東西の交流が増加し本地点の通行量が増加した。 | |
| その他の数値指標2 | 駅までのアクセス時間 | 分 | 11 | H16 | | | 9 | | | 腰浜町町庭坂線整備により、渡利大橋から福島駅までのアクセス時間が短縮されることが期待できる。また、本路線整備により他路線の渋滞緩和に寄与することが出来た。 | H23.10 |
| その他の数値指標3 | 都市計画道路整備率 | % | 75.71% | H16 | | | 79.58% | | | 矢剣町渡利線、栄町置賜町線整備、腰浜町町庭坂線整備により、都市計画道路の整備率が向上し、安全で円滑な交通が確保された。 | |

4) 定性的な効果発現状況
 栄町置賜町線(吾妻通り)の完成に伴い、将来にわたり、良好なまちづくりを推進するため、吾妻通り協栄会(商工会)に「活性化委員会」が設置され、地域住民による積極的なまちづくり活動が実施されている。

| 5) 実施過程の評価 | 実施内容 | | 実施状況 | | 今後の対応方針等 | |
|------------|----------------|--|---|-----|----------|----------------------------------|
| | モニタリング | 住民参加プロセス | モニタリング | 評価値 | 目標達成度 | 1年以内の達成見込み |
| | なし | なし | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | |
| | なし | なし | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | |
| | 持続的なまちづくり体制の構築 | 栄町置賜町線沿線の商店会を中心に、道路の維持管理(地元でできる範囲で)やイベントの開催、また、道路沿線土地利用の検討 | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | ● 定期的に委員会を開催し、地元住民と共にまちづくりを進めていく |

様式2-2 地区の概要

| 福島都心地区(福島県福島市)都市再生整備計画事業の成果概要 | | | | | | | | | |
|--|--|--|---------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|
| まちづくりの目標 | | 目標を定量化する指標 | | 従前値 | 目標値 | 評価値 | | | |
| 大目標: 連携と交流が生み出す「にぎわいのあるまち」 目標1: 県都としての役割を担う福島市中心市街地の活性化を図る 目標2: 総合交通網の整備による安全で円滑な交通確保によりにぎわいの創出を図る | | 歩行者・自転車通行量 | 単位: 人/日 | 60,200 | H16 | 63,200 | H22 | 43,311 | H22 |
| | | レンタサイクル利用者数 | 単位: 人/年 | 18,062 | H16 | 20,000 | H22 | 17,027 | H22 |
| | | 中心市街地居住人口 | 単位: 人/年 | 14,106 | H16 | 14,800 | H22 | 14,624 | H22 |
| | | 福島駅東西自由通路歩行者通行量 | 単位: 人/日 | 9,452 | H16 | — | — | 9,824 | H22 |
| | | 駅までのアクセス時間 | 単位: 分 | 11 | H16 | — | — | 9 | H22 |
| | | 都市計画道路整備率 | 単位: % | 75.71% | H16 | — | — | 79.58% | H22 |
| | | | | | | | | | |
| まちの課題の変化 | | 都心における交通の円滑化と防災機能充実のため、拠点間を結ぶ主要幹線道路やそれらを補完する幹線道路の整備が課題であったが、栄町置賜町線、矢剣町渡利線の一方通行の双方向化により、通過交通による渋滞緩和や、緊急車両のスムーズな通行が出来るようになった。 車や人の流れを改善し、中心市街地地区相互間の連携を強化し、交流の促進とにぎわいの創出が課題であったが、栄町置賜町線、矢剣町渡利線の双方向化(従前は一方通行)により中心市街地地区間のアクセス向上が実現した。また、歩道空間の確保により安心して歩くことが出来るようになり、様々な都市機能が集積する利便性の高い中心市街地への居住促進を図った結果、人口も増加傾向にある。 地域資源を活かした拠点を回遊性の向上に繋げるため、地域資源を活かした拠点の整備が課題であったが、旧米沢藩米蔵復原事業、まちの彫刻利活用事業等により、基盤を整備することが出来た。しかし、レンタサイクルの利用拡充に向けた施策が必要である。 | | | | | | | |
| 今後のまちづくりの方策(改善策を含む) | | ■子供が遊べる公園を整備する(公園整備の促進) ■バリアフリー未整備箇所の整備推進(道路等のバリアフリー化の促進) ■公共交通の充実(循環バスの継続運行) ■各種イベントの実施や歩道整備による歩いて楽しいまちづくりの推進、行政とまちづくり団体や商工会等の連携促進(イベント促進、歩道整備、まちづくり体制の構築) ■自転車レーンの設置、駐輪場の拡大、地域住民および来街者に対するレンタサイクルの利用推進(自転車レーン整備、駐輪場整備、レンタサイクル利用のPR事業) | | | | | | | |

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

| | 変更 | | 変更前 | 変更後 | 変更理由 |
|---------------|----|----|-----|------------------|---|
| | あり | なし | | | |
| A. まちづくりの目標 | | ● | | | |
| B. 目標を定量化する指標 | ● | | - | 指標3:中心市街地居住人口の追加 | ・多様化する社会や市民のニーズを踏まえ、様々な都市機能が集積する利便性の高い中心市街地への居住促進を図る必要があり、また、高齢化社会を踏まえ、バリアフリー化の促進、快適な歩行者空間の整備・誘導、ポケットパーク整備による緑化促進等、安心して住み続けられる住環境の整備を進める必要があったため、目標を定量化する指標として追加した。 |
| C. 目標値 | | ● | | | |
| D. その他() | | ● | | | |

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

| 基幹事業 (事業費:百万円) | | | | | | | | | |
|----------------|-----------------------|-------|--------|---------|----------|--|---|------------|-------|
| 事業 | 事業箇所名 | 当初計画 | | 最終変更計画 | | 当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む) | 都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響 | 事後評価時の完成状況 | |
| | | 事業費 | 事業内容 | 事業費 | 事業内容 | | | 完成 | 完成見込み |
| 道路 | 栄町置賜町線 | 960 | L=220m | 737.1 | L=220m | 事業費精査により増額 | 歩行者・自転車通行量の指標に関係するが、数値目標は据え置く | — | ● |
| 道路 | 矢剣町渡利線 | 1,000 | L=200m | 584.6 | L=200m | 用地・補償について、地価の下落や補償費算定結果より減額 | 歩行者・自転車通行量の指標に関係するが、数値目標は据え置く | — | ● |
| 道路 | 腰浜町町庭坂線 | 1,363 | L=170m | 1,183.1 | L=366m | 一部区間のみ計画を協議の上、全線を計画に位置づけた | 歩行者・自転車通行量の指標に関係するが、数値目標は据え置く | — | ● |
| 道路 | 栄町・曾根田町線 | — | — | 20.4 | L=120m | 福島駅東口の未整備道路を歩行者の回遊軸として道路改築を追加 | 歩行者・自転車通行量の指標に関係するが、数値目標は据え置く | ● | — |
| 公園 | | | | | | | | | |
| 河川 | | | | | | | | | |
| 下水道 | | | | | | | | | |
| 駐車場有効利用システム | | | | | | | | | |
| 地域生活基盤施設 | 自転車駐輪場 | 10 | — | — | — | 計画の見直しにより削除 | 歩行者・自転車通行量の指標に関係するが、数値目標は据え置く | — | — |
| 地域生活基盤施設 | 小規模緑地 | — | — | 3.0 | 1箇所 | 回遊性を高めるために事業を追加 | 歩行者・自転車通行量の指標に関係するが、数値目標は据え置く | ● | — |
| 高質空間形成施設 | 電線類地下埋設施設(栄町置賜町線他1路線) | 372 | 2箇所 | — | — | 栄町置賜町線他1路線の事業計画の詳細が決まり削除 | 歩行者・自転車通行量の指標に関係するが、数値目標は据え置く | — | — |
| 高質空間形成施設 | 栄町置賜町線 電線類地中化 | — | — | 44.5 | 1箇所 | 栄町置賜町線他の事業計画の詳細が決まり追加、当初2路線を予定していたが、1路線へ変更 | 中心市街地居住地人口の指標に関係するが、数値目標は据え置く | — | ● |
| 高質空間形成施設 | 緑化施設 道路高質化空間整備 | 52 | 2箇所 | 13.5 | 2箇所 | 栄町置賜町線他の事業計画の詳細が決まり追加 | 中心市街地居住地人口の指標に関係するが、数値目標は据え置く | — | ● |
| 高質空間形成施設 | 緑化施設 ホケットパーク | 43 | 3箇所 | 20.5 | 4箇所 | 栄町置賜町線他の事業計画の詳細が決まり追加 当初3箇所から用地買取による残地の発生により1箇所追加 | 中心市街地居住地人口の指標に関係するが、数値目標は据え置く | — | ● |
| 高質空間形成施設 | 緑化施設 街なかサイン | 25 | — | — | — | 栄町置賜町線他の事業計画の詳細が決まり追加したが、次期計画で整備する施設をサインに反映させるため、今回の計画から削除 | 中心市街地居住地人口の指標に関係するが、数値目標は据え置く | — | — |
| 高質空間形成施設 | 歩行者支援施設、障害者誘導施設事業 | — | — | 6.1 | — | 歩行者支援する障害者誘導施設設置のため事業を追加 | 歩行者・自転車通行量の指標に関係するが、数値目標は据え置く | — | ● |
| 高質空間形成施設 | 置賜町線 | — | — | 5.4 | L=60m | 市道を整備し、歩行者及び自転車の回遊性向上させるため追加 | 歩行者・自転車通行量の指標に関係するが、数値目標は据え置く | — | ● |
| 高質空間形成施設 | 置賜町天神町1号線 | — | — | 2.4 | L=27m | 市道を整備し、歩行者及び自転車の回遊性向上させるため追加 | 歩行者・自転車通行量の指標に関係するが、数値目標は据え置く | — | ● |
| 高質空間形成施設 | 駅東口通路段差解消 | — | — | 1.2 | 3箇所 L=9m | 事業地が高齢者及び障害者の通行に支障をきたしているため必要整備となり事業を追加 | 歩行者・自転車通行量の指標に関係するが、数値目標は据え置く | — | ● |
| 高次都市施設 | | | | | | | | | |

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

| 基幹事業 | | | | | | | | | |
|--------------|-------|------|------|--------|------|--------------------------------------|---|------------|-------|
| 事業 | 事業箇所名 | 当初計画 | | 最終変更計画 | | 当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む) | 都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響 | 事後評価時の完成状況 | |
| | | 事業費 | 事業内容 | 事業費 | 事業内容 | | | 完成 | 完成見込み |
| 地区再開発事業 | | | | | | | | | |
| バリアフリー環境整備事業 | | | | | | | | | |
| 優良建築物等整備事業 | | | | | | | | | |
| 住宅市街地総合整備事業 | | | | | | | | | |
| 街なみ環境整備事業 | | | | | | | | | |
| 街なみ環境整備事業 | | | | | | | | | |
| 街なみ環境整備事業 | | | | | | | | | |
| 街なみ環境整備事業 | | | | | | | | | |
| 住宅地区改良事業等 | | | | | | | | | |
| 都心共同住宅供給事業 | | | | | | | | | |
| 公営住宅等整備 | | | | | | | | | |
| 都市再生住宅等整備 | | | | | | | | | |
| 防災街区整備事業 | | | | | | | | | |

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

| 提案事業 | | | | | | | | | |
|-----------------|----------------|------|------|--------|------|--------------------------------------|---|------------|-------|
| 事業 | 細項目 | 当初計画 | | 最終変更計画 | | 当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む) | 都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響 | 事後評価時の完成状況 | |
| | | 事業費 | 事業内容 | 事業費 | 事業内容 | | | 完成 | 完成見込み |
| 地域創造 支援事業 | 自転車利用促進事業 | - | - | 9.7 | - | 自転車駐輪場を整備し自転車利用促進に向け繋げるため事業を追加 | 歩行者・自転車通行量の指標に関係するが、数値目標は据え置く | ● | |
| | 上水道整備事業 | - | - | 78.7 | - | 道路事業整備に併せ、新設で上水道を整備する必要が生じたため事業を追加 | 中心市街地居住地人口の指標に関係するが、数値目標に影響なし | — | ● |
| | 下水道整備事業 | - | - | 26.6 | - | 新設される街路の沿線を快適な住環境の土地利用を促すため事業を追加 | 中心市街地居住地人口の指標に関係するが、数値目標に影響なし | — | ● |
| | 駅前広場モニュメント設置事業 | - | - | 15.0 | - | 街中の回遊性向上強化を目的とし福島の魅力発信のため追加 | 歩行者・自転車通行量の指標に関係するが、数値目標は据え置く | ● | |
| | 旧米沢藩米蔵復原事業 | - | - | 25.2 | - | 街中の回遊性向上のため事業を追加 | 歩行者・自転車通行量の指標に関係するが、数値目標は据え置く | — | ● |
| | まちの彫刻活用事業 | - | - | 0.7 | - | 街中の回遊性向上強化を目的とし福島の魅力発信のため追加 | 歩行者・自転車通行量の指標に関係するが、数値目標は据え置く | ● | — |
| 事業活用調査 | 中心市街地における活性化調査 | - | - | 6.6 | - | 新中心市街地活性化基本計画の作成に向け調査・計画の策定を実施するため追加 | 中心市街地居住地人口の指標に関係するが、数値目標は据え置く | ● | — |
| | | | | | | | | | |
| まちづくり 活動推進事業 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

| (参考)関連事業 | | | | | | | |
|-----------------------|---------------|-------|--------|---------|---------|---|----|
| 事業 | 事業箇所名 | 事業費 | | 事業期間 | | 進捗状況及び所見 | 備考 |
| | | 当初計画 | 最終変更計画 | 当初計画 | 最終変更計画 | | |
| 福島栄町北地区優良建築物等整備事業 | 栄町 | 4,540 | 4,540 | H15～H18 | H15～H18 | H18に完成し共同住宅、店舗、学習塾、駐車場として利用され、公共の福祉に寄与している。 | |
| 福島駅構内バリアフリー化事業 | 栄町 | 514 | 514 | H16～H17 | H16～H17 | H17に完成し、駅の利便性に寄与している。 | |
| 福島駅東西自由通路歩行者導線事業 | 栄町 | 162 | 162 | H16～H17 | H16～H17 | H17に完成し、視覚障害者の歩行の安全性に寄与している | |
| こどもの夢をはぐくむ施設歩行者導線確保事業 | 栄町 | 25 | 25 | H17～H17 | H17～H17 | H17に完成し、視覚障害者の歩行の安全性に寄与している。 | |
| 地域活性化・きめ細かな臨時交付金 | 栄町置賜町線 電線類地中化 | - | 89 | - | H22～H22 | H22年度中に完成予定。 | |

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

| 指標 | 単位 | データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等) | (参考)※1 計画以前の値 (ア) | | 従前値 (イ) | | 目標値 (ウ) | | 数値(エ) | | | 目標達成度※2 | | 1年以内の達成見込みの有無 | | |
|-----|-------------|---|-------------------------|-----|------------|-----|------------|-----|--------|-------------|--------|---------|----|---------------|---|--|
| | | | 基準年度 | | 基準年度 | | 目標年度 | | モニタリング | 事後評価 | 達成度 | 評価 | あり | なし | | |
| 指標1 | 歩行者・自転車通行量 | 人/日 時期:平成22年7月16日(金)晴れ、18日(日)晴れ 実施主体:商業労政課 計測手法:午前8時~午後7時の11時間の中心市街地の主要箇所14地点の平日と休日の平均通行量を評価値(見込み)とする。 | - | - | 60,200 | H16 | 63,200 | H22 | モニタリング | | | モニタリング | | | | |
| | | | | | | | | | 事後評価 | 確定 見込み ● | 43,311 | 事後評価 | × | | ● | |
| 指標2 | レンタサイクル利用者数 | 人/年 時期:平成22年9月 実施主体:交通政策課 計測手法:レンタサイクル貸し出し所(駅東口、本町、駅西口、平和通り地下)4箇所の平成16年度~平成21年度の実績値より平成22年度のレンタサイクルの利用者数を推計し評価値(見込み)とする。 | - | - | 18,062 | H16 | 20,000 | H22 | モニタリング | | | モニタリング | | | | |
| | | | | | | | | | 事後評価 | 確定 見込み ● | 17,027 | 事後評価 | × | | ● | |
| 指標3 | 中心市街地居住人口 | 人/年 時期:平成22年10月1日統計値 実施主体:企画政策課 計測手法:福島市の住民基本台帳による平成22年10月1日付けの統計調査資料を基に、整備計画エリア内人口を集計し評価値(見込み)とする。 | 13,952 | H14 | 14,106 | H16 | 14,800 | H22 | モニタリング | | | モニタリング | | | | |
| | | | | | | | | | 事後評価 | 確定 見込み ● | 14,624 | 事後評価 | △ | | ● | |
| 指標4 | | | | | | | | | モニタリング | | | モニタリング | | | | |
| | | | | | | | | | 事後評価 | 確定 見込み | | 事後評価 | | | | |
| 指標5 | | | | | | | | | モニタリング | | | モニタリング | | | | |
| | | | | | | | | | 事後評価 | 確定 見込み | | 事後評価 | | | | |

| 指標 | 目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む) | その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等) |
|-----|--|----------------------------|
| 指標1 | 歩行者・自転車通行量は従前値を下回ったため×とした。特に、平成16年にさくら百貨店が閉店し、交通量の減少の要因の一つとなっている。 | |
| 指標2 | 利用者は従前値を下回ったため×とした。レンタサイクル利用者は限定されており、またPR不足もあり、利用者の増加に繋がらなかった。 | |
| 指標3 | 中心市街地の人口は、目標値にはわずかに至らなかったが、近年人口は増加傾向にあるため△とした。さらに福島市全体の人口増加率(対16年比1%)に比べても増加しているため、1年以内に達成が可能であると想定した。 | |
| 指標4 | | |
| 指標5 | | |

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○:評価値が目標値を上回った場合

△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

| 指標 | | データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等) | (参考)※1 計画以前の値 (ア) | | 従前値 (イ) | | 数値(ウ) | | | 本指標を取り上げる理由 | その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等) | |
|-----------|-----------------|--|-------------------------|------|------------|------|--------|------|-----|-------------|---|----------|
| | | | 単位 | 基準年度 | 基準年度 | 基準年度 | 基準年度 | 基準年度 | | | | |
| その他の数値指標1 | 福島駅東西自由通路歩行者通行量 | 時期:平成22年7月18日(日)晴れ 実施主体:商業労政課 計測手法:午前8時~午後7時の福島駅東西自由通路における休日の歩行者の通行量を評価値(確定)とした | — | — | 9,452 | H16 | モニタリング | | | 9,824 | 小目標1の「中心市街地の活性化」に関連するものであり、東西自由通路整備、駅東口通路段差解消整備、地区内の各種整備の事業効果を把握するものとして本指標を取り上げる。 | 指標1を補完する |
| | | | | | | | 事後評価 | 確定 ● | 見込み | | | |
| その他の数値指標2 | 駅までのアクセス時間 | 時期:平成22年10月 実施主体:都市計画課 計測手法:腰浜町町庭坂線が供用開始したと見込み、平成17年交通センサス平均旅行速度より渡利大橋~福島駅間のアクセス時間を地図上より計測し評価値(見込み)とした | — | — | 11 | H16 | モニタリング | | | 9 | 小目標2の「安全で円滑な交通確保」に寄与するものであり、腰浜町町庭坂線整備の事業効果を把握するものとして本指標を取り上げる。 | 指標2を補完する |
| | | | | | | | 事後評価 | 確定 ● | 見込み | | | |
| その他の数値指標3 | 都市計画道路整備率 | 時期:平成22年10月 実施主体:都市計画課 計測手法:計画区域内都市計画道路の整備率(整備延長÷計画延長×100)を計測し、評価値(確定)とする。 | — | — | 75.71% | H16 | モニタリング | | | 79.58% | 小目標2の「安全で円滑な交通確保」に寄与するものであり、両側歩道の都市計画道路整備事業の効果を把握するものとして本指標を取り上げる。 | 指標1を補完する |
| | | | | | | | 事後評価 | 確定 ● | 見込み | | | |

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

栄町置賜町線(吾妻通り)の完成に伴い、将来にわたり、良好なまちづくりを推進するため、吾妻通り協栄会(商工会)に「活性化委員会」が設置され、地域住民による積極的なまちづくり活動が実施されている。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

| 都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容 | 実施状況 | 実施頻度・実施時期・実施結果 | 今後の対応方針等 |
|---------------------------------|-----------------------|----------------|----------|
| なし | 予定どおり実施した | | |
| | 予定はなかったが実施した | | |
| | 予定したが実施できなかった (理由) | | |
| | 予定どおり実施した | | |
| | 予定はなかったが実施した | | |
| | 予定したが実施できなかった (理由) | | |

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

| 都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容 | 実施状況 | 実施頻度・実施時期・実施結果 | 今後の対応方針等 |
|---------------------------------|-----------------------|----------------|----------|
| なし | 予定どおり実施した | | |
| | 予定はなかったが実施した | | |
| | 予定したが実施できなかった (理由) | | |
| | 予定どおり実施した | | |
| | 予定はなかったが実施した | | |
| | 予定したが実施できなかった (理由) | | |

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

| 都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容 | 構築状況 | 実施頻度・実施時期・実施結果 | | 今後の対応方針等 |
|---|-----------------------|--|---|--------------------------------|
| | | i. 体制構築に向けた取組内容 | ii. まちづくり組織名:組織の概要 | |
| 栄町置賜町線沿線の商店会を中心に、道路の維持管理(地元でできる範囲で)やイベントの開催、また、道路沿線土地利用を検討する。 | 予定どおり実施した | ● 実施時期:平成22年9月28日、11月、1月、2月(計4回実施) 実施結果:今後の栄町置賜町沿線を中心としたまちづくりを推進するため、今後の道路の維持管理、イベントの企画等を検討した。 | 栄町置賜町線(吾妻通り)の完成に伴い、将来にわたり、良好なまちづくりを推進するため、吾妻通り協栄会に「活性化委員会」を設置 | 定期的に委員会を開催し、地元住民と共にまちづくりを進めていく |
| | 予定はなかったが実施した | | | |
| | 予定したが実施できなかった (理由) | | | |
| | 予定どおり実施した | | | |
| | 予定はなかったが実施した | | | |
| | 予定したが実施できなかった (理由) | | | |

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

| 名称等 | 検討メンバー | 実施時期 | 担当部署 |
|--------|--|------------------|--------------------|
| 庁内検討会議 | 都市計画課、交通政策課、市街地整備課、公園緑地課、観光課、河川課、下水道建設課、水道局商業労政課、児童福祉課、生涯学習課、建築住宅課 | 2010年10月22日(全1回) | 都市計画課(都市再生整備計画担当課) |

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

| 指標の種類別 | | 指標3 | その他指標1 | その他指標2 | その他指標3 | |
|--------------------------|-----------------------------|-----------|--|--|--|---|
| 指標名 | | 中心市街地居住人口 | 福島駅東西自由通路歩行者通行量 | 駅までのアクセス時間 | 都市計画道路整備率 | |
| 種別 | 事業名・箇所名 | 指標改善への貢献度 | 総合所見 | 指標改善への貢献度 | 総合所見 | |
| 基幹事業 | (道路)栄町置賜町線 | ○ | 評価値計測時(平成22年10月1日時点)は目標値を達成しなかったが、集合住宅等の整備誘導による居住促進を図るために上下水道の整備や周辺道路整備により、中心市街地の居住人口は増加傾向にある。従って、現在未完了事業が完了し中心市街地の魅力がさらに増すことで今後さらなる人口の増加が想定されるため、1年以内に目標値を達成すると考える。 | 東西自由通路整備と中心市街地内の各種整備による中心市街地の魅力向上により、福島駅東西の交流が増加し本地点の通行量が増加した。 | 腰浜町町庭坂線整備により、渡利大橋から福島駅までのアクセス時間が短縮されることが期待できる。また、本路線は1日8600台の通過交通量となると見込まれており、他路線の渋滞緩和へ寄与することが出来た。 | 矢剣町渡利線、栄町置賜町線整備、腰浜町町庭坂線整備により、計画区域内の都市計画道路整備率が向上し、安全で円滑な交通が確保された。また、都市計画道路整備に伴う歩道整備により歩行者通行量の増加が期待でき、にぎわいの創出に寄与すると考える。 |
| | (道路)矢剣町渡利線 | ○ | | | | |
| | (道路)腰浜町町庭坂線 | ○ | | | | |
| | (道路)栄町・菅根町線 | ○ | | | | |
| | (地域生活基盤施設)小規模緑地 | ○ | | | | |
| | (高質空間形成施設)栄町置賜町線 電線類地中化 | ○ | | | | |
| | (高質空間形成施設)緑化施設 道路高質化空間整備 | ○ | | | | |
| | (高質空間形成施設)緑化施設 ホケッパーク | ○ | | | | |
| | (高質空間形成施設)歩行者支援施設、障害者誘導施設事業 | ○ | | | | |
| | (高質空間形成施設)置賜町線 | ○ | | | | |
| (高質空間形成施設)置賜町天神1町号線 | ○ | | | | | |
| (高質空間形成施設)駅東口道路段差解消 | ○ | | | | | |
| (地域創造支援事業)自転車利用促進事業 | ○ | | | | | |
| (地域創造支援事業)上水道整備事業 | ○ | | | | | |
| (地域創造支援事業)下水道整備事業 | ○ | | | | | |
| (地域創造支援事業)駅前広場モニユメント設置事業 | ○ | | | | | |
| (地域創造支援事業)旧米沢藩米蔵復原事業 | ○ | | | | | |
| (地域創造支援事業)まちの彫刻活用事業 | ○ | | | | | |
| (事業活用調査)中心市街地における活性化調査 | ○ | | | | | |
| 関連事業 | 福島栄町北地区優良建築物等整備事業 | ○ | | | | |
| | 福島駅構内バリアフリー化事業 | ○ | | | | |
| | 福島駅東西自由通路歩行者導線事業 | ○ | | | | |
| | こどもの夢をばくむ施設歩行者導線確保事業 | ○ | | | | |
| | 地域活性化・きめ細かな臨時交付金 | ○ | | | | |

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ー：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

| | | | | |
|-------|--|--|--|---|
| 今後の活用 | 居住地としての魅力を継続するため、道路整備や歩行者区間整備の推進や、循環バスやレンタサイクル事業等を継続し利便性の向上を図り、また商業の活性化を推進し中心市街地の賑わいを図る。 | 中心市街との魅力を向上を目指し、街なかでの買い物や歩いて楽しめるまちづくりを進め、地区全体での歩行者交通量の増大につなげる。 | 腰浜町町庭坂線沿線を中心に、商業の活性化やイベントの開催等によるまちの賑わいづくりを進める。 | 道路整備は安心な居住環境やまちの賑わいにも寄与するため、今後も未整備区間についての道路整備を推進する。 |
|-------|--|--|--|---|

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

| 指標の種別 | | 指標1 | | | 指標2 | | | | | | |
|------------------------|-----------------------------|------------|--|-------|-------------|---|-------|--|------------|------|-------|
| 指標名 | | 歩行者・自転車通行量 | | | レンタサイクル利用者数 | | | | | | |
| 種別 | 事業名・箇所名 | 目標未達成への影響度 | 総合所見 | 要因の分類 | 目標未達成への影響度 | 総合所見 | 要因の分類 | | 目標未達成への影響度 | 総合所見 | 要因の分類 |
| 基幹事業 | (道路)栄町置賜町線 | △ | 本指標の計測値は常に平日が多いことからオフィス街の就業人口が強く影響している。そのため本指標が達成しなかった理由としては、景気低迷による本地区の就業人口の減少が挙げられる。歩道整備、街なかサイン等による回遊できる道づくりや、自転車駐輪場整備により、歩行者・自転車通行量の増加が期待されたが、事業が未完了の箇所もあり、通行量は増加しなかった。ただし、自転車駐輪場に監視カメラ・照明灯の設置し防犯に対する安心は高まつ | Ⅲ | △ | 歩道の整備、回遊できる道づくり、駐輪場の防犯設備を充実させることでレンタサイクルの利用者数の増加が期待されたが、PR事業の不足のため利用者が限定されており、本指標を達成できなかった。なお、レンタサイクル登録者数の累計は、年々増加しており登録者の定期的な利用が求められる。 | Ⅲ | | | | |
| | (道路)矢剣町渡利線 | △ | | | △ | | | | | | |
| | (道路)腰浜町庭坂線 | △ | | | △ | | | | | | |
| | (道路)栄町・菅根田町線 | △ | | | △ | | | | | | |
| | (地域生活基盤施設)小規模緑地 | △ | | | △ | | | | | | |
| | (高質空間形成施設)栄町置賜町線 電線類地中化 | △ | | | △ | | | | | | |
| | (高質空間形成施設)緑化施設 道路高質化空間整備 | △ | | | △ | | | | | | |
| | (高質空間形成施設)緑化施設 ホケットパーク | △ | | | △ | | | | | | |
| | (高質空間形成施設)歩行者支援施設、障害者誘導施設事業 | △ | | | △ | | | | | | |
| | (高質空間形成施設)置賜町線 | △ | | | △ | | | | | | |
| | (高質空間形成施設)置賜町天神1町号線 | △ | | | △ | | | | | | |
| (高質空間形成施設)駅東口通路段差解消 | △ | △ | | | | | | | | | |
| 提案事業 | (地域創造支援事業)自転車利用促進事業 | △ | | | | | | | | | |
| | (地域創造支援事業)上水道整備事業 | △ | | | | | | | | | |
| | (地域創造支援事業)下水道整備事業 | △ | | | | | | | | | |
| | (地域創造支援事業)駅前広場モニュメント設置事業 | △ | | | | | | | | | |
| | (地域創造支援事業)旧米沢藩米蔵復原事業 | △ | | | | | | | | | |
| | (地域創造支援事業)まちの彫刻活用事業 | △ | | | | | | | | | |
| (事業活用調査)中心市街地における活性化調査 | △ | | | | | | | | | | |
| 関連事業 | 福島栄町北地区優良建築物等整備事業 | △ | | | | | | | | | |
| | 福島駅構内バリアフリー化事業 | △ | | | | | | | | | |
| | 福島駅東西自由通路歩行者導線事業 | △ | | | | | | | | | |
| | こどもの夢をはぐくむ施設歩行者導線確保事業 | △ | | | | | | | | | |
| 地域活性化・きめ細かな臨時交付金 | △ | | | | | | | | | | |

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能ない要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能ない要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能ない要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能ない要因。

| | | |
|------------------|---|---|
| 改善の方針 (記入は必須) | 街なかを回遊できる歩道空間整備や街なかの商業施設の誘致、企業の誘致ならびに、雇用が増加する様な制度の推進を図る。また、駐輪上場の整備、自転車道の整備を進める。 | 住民のレンタサイクルの利用を促す積極的なPRや観光旅行者のレンタサイクルを利用した観光ルートMAPの作成等のPRを進める。 |
|------------------|---|---|

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

| 名称等 | 検討メンバー | 実施時期 | 担当部署 |
|--------|---|-----------------|--------------------|
| 庁内検討会議 | 都市計画課、交通政策課、市街地整備課、公園緑地課、観光課、河川課、下水道建設課、水道局、商業労政課、児童福祉課、生涯学習課、建築住宅課 | 2010/10/22(全1回) | 都市計画課(都市再生整備計画担当課) |

添付様式5-② まちの課題の変化

| 事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題 | 達成されたこと(課題の改善状況) | 残された未解決の課題 | 事業によって発生した 新たな課題 |
|--|--|---|---------------------|
| 都心における交通の円滑化と防災機能充実のため、拠点間を結ぶ主要幹線道路やそれらを補完する幹線道路を整備する必要がある。 | ・栄町置賜町線、矢剣町渡利線の一方通行の双方向化により、通過交通による渋滞緩和や、緊急車両のスムーズな通行が出来るようになった。 | 整備計画区域内に残る未整備の都市計画道路の整備を促進する必要がある。 | なし |
| 車や人の流れを改善し、中心市街地地区相互間の連携を強化し、交流の促進とにぎわいの創出を図っていく必要がある。 | ・栄町置賜町線、矢剣町渡利線の双方向化(従前は一方通行)により中心市街地地区間のアクセス向上が実現した。また歩道空間の確保により安心して歩くことが出来るようになった。これにより、交流の促進を図ることが出来た。 | 自転車・歩行者の回遊性の向上を図り、訪れる観光客の利便性にも繋げて、さらなる賑わいの創出を図る必要がある。 | |
| 様々な都市機能が集積する利便性の高い中心市街地への居住促進を図る。 | 中心市街地への居住促進の結果、人口が漸増した。 | なし | |
| バリアフリー化の促進、快適な歩行者空間の整備・誘導、ポケットパーク整備による緑化促進等、安心して住み続けられる住環境の整備を進める必要がある。 | ・上下水道整備、歩き易い歩道整備、駅東口通路段差解消整備や自転車駐輪場整備に伴う監視カメラ・照明灯の設置等各種事業により、安心して住み続けられる住環境が創出された。 | なし | |
| 地域資源を活かした歩行者・自転車ネットワークを形成し、回遊性の向上により賑わいの創出を図る必要がある。 | ・旧米沢藩米蔵復原事業、まちの彫刻活用事業、街なかサイン整備等による回遊性の向上を図るための基盤を整備することが出来た。 | 新たな交流拠点のPRと自転車の利便性のPR、各種イベントや団体と連携することで回遊性を向上させ、賑わいの創出に繋げる。 | |
| 平坦性の地形を活かし、まちなかの回遊性向上と賑わいを創出するため、多くの人々が利用できるようレンタサイクルの拡充と快適な歩行者空間の整備を図っていく必要がある。 | ・両側歩道の都市計画道路を整備することにより、安全・安心快適な自転車通行・歩行空間を確保することができた。 | まちなかでの自転車の利便性PRや、レンタサイクルの利用拡充に向けた施策。 | |

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

| A欄 効果を持続させるため に行う方策 | 効果の持続を図る事項 | 効果を持続させるための基本的な考え方 | 想定される事業 |
|---------------------------|-------------------|---|-----------------------------|
| | 中心市街地への居住促進 | 市民の憩いの場としての公園を整備することにより、中心市街地への居住促進に寄与する。 | 公園整備の促進 |
| | 安心して住み続けられる住環境の整備 | バリアフリー未整備箇所を整備推進することで、子どもから高齢者、また障がい者が安心して住み続けられることに寄与する。 | 道路等のバリアフリー化の促進 |
| | 回遊性の向上 | 安全安心な歩行空間の創出と公共交通の充実することで、居住者と来訪者の回遊性向上に寄与する。 | 循環バスの継続運行、歩行空間確保としての街路整備の促進 |

| B欄 改善策 | 改善する事項 | 改善策の基本的な考え方 | 想定される事業 |
|-----------|--------------|--|-------------------------------|
| | 交通網の更なる整備 | 都市計画道路は、自動車のみならず歩行者や自転車通行の安全確保につなげるため、未整備区間の整備促進を図る。 | 都市計画道路の整備 |
| | 中心市街地の賑わいの促進 | 各種イベントの実施や歩道整備による歩いて楽しいまちづくりの推進、行政とまちづくり団体や商工会等の連携促進 | イベント促進、歩道整備、まちづくり体制の構築 |
| | レンタサイクルの利用拡充 | 自転車レーンの設置、駐輪場の拡大 地域住民および来街者に対するレンタサイクルの利用推進 | 自転車レーン整備、駐輪場整備、レンタサイクル利用のPR事業 |

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

| |
|---|
| ● 交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。 |
| ● 事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。 |
| ● 数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。 |
| ● 数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。 |
| ● 残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。 |

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

| 指標 | | 単位 | 従前値 | | 目標値 | | 評価値 | | 目標達成度 | 1年以内の達成見込みの有無 | フォローアップ計画 | | | |
|-----------|-----------------|-----|--------|-----|--------|-----|-----|-----|--------|---------------|-----------|----------|---|-------------------|
| | | | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 確定 | 見込み | | | 予定時期 | 計測方法 | その他特記事項 | |
| 指標1 | 歩行者・自転車通行量 | 人/日 | 60,200 | H16 | 63,200 | H22 | 確定 | ● | 43,311 | × | あり | 平成23年7月 | 計画策定時の調査箇所と同一箇所(14地点)で、7月の平日と休日の午前8時から午後7時までの平均歩行者・自転車通行量を計測する。 | 実施主体: 福島市商業労政課 |
| | | | | | | 見込み | ● | | | | なし | | | |
| 指標2 | レンタサイクルの利用者数 | 人/年 | 18,062 | H16 | 20,000 | H22 | 確定 | ● | 17,027 | × | あり | 平成23年4月 | 平成22年度末の4箇所のレンタサイクル貸し出し所の貸し出し実績を確定値とする。 | 実施主体: 福島市交通政策課 |
| | | | | | | 見込み | ● | | | | なし | | | |
| 指標3 | 中心市街地居住人口 | 人/年 | 14,106 | H16 | 14,800 | H22 | 確定 | ● | 14,624 | △ | あり | 平成23年10月 | 福島市の住民基本台帳による平成23年10月1日付けの統計調査資料を基に、整備計画エリア内人口を集計し確定値とする。 | 実施主体: 企画政策課 |
| | | | | | | 見込み | ● | | | | なし | | | |
| 指標4 | | | | | | | 確定 | ● | | | あり | | | |
| 指標5 | | | | | | | 見込み | ● | | | なし | | | |
| その他の数値指標1 | 福島駅東西自由通路歩行者通行量 | 人/日 | 9,452 | H16 | | | 確定 | ● | 9,824 | | | | | |
| | | | | | | | 見込み | ● | | | | | | |
| その他の数値指標2 | アクセス時間 | 分 | 11 | H16 | | | 確定 | ● | 9 | | | 平成23年10月 | 腰浜町町庭坂線完成後の数ヶ月経過後(平成24年予定)に、渡利大橋～福島駅間を平日朝および夕方に乗用車でアクセス時間を計測し、朝、夕の平均値を確定値とする。 | 実施主体: 都市計画課 |
| | | | | | | | 見込み | ● | | | | | | |
| その他の数値指標3 | 都市計画道路整備率 | % | 75.71% | H16 | | | 確定 | ● | 79.58% | | | | | |
| | | | | | | | 見込み | ● | | | | | | |

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

| 項目 | | 要因分析 | 次期計画や他地区への活かし方 |
|------------------|------------|---|---------------------------------|
| 数値目標・成果の達成 | うまくいった点 | なし | 目標値を設定する際は、昨今の現状を考慮し設定する。 |
| | うまくいかなかった点 | 指標3の中心市街地人口の目標値の設定を従前値の5%増と設定したが、全国的に人口減少が著しい中で、本目標値の設定は高く、整備期間中には目標を達成しなかった。 | |
| 数値目標と目標・事業との整合性等 | うまくいった点 | 道路整備や上下水道整備等で居住促進を図り、居住人口を増加させ、にぎわいを創出し、中心市街地の活性化につながると考え、指標3中心市街地の人口を当初計画より追加した。結果、目標にはわずかに及ばなかったが、1年以内の達成の見込みは出来ると判断した。 | 指標は、事業とその効果の関連性を考慮し設定することが望ましい。 |
| | うまくいかなかった点 | なし | |
| 住民参加・情報公開 | うまくいった点 | なし | |
| | うまくいかなかった点 | なし | |
| PDCAによる事業・評価の進め方 | うまくいった点 | なし | 中間モニタリングを計画する。 |
| | うまくいかなかった点 | 達成しなかった指標を補完するその他指標の設定に時間を要したため、中間年次でモニタリングを実施し、事業効果の見直しを行なうことが必要である。 | |
| その他 | うまくいった点 | なし | |
| | うまくいかなかった点 | なし | |

添付様式6－参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

区域を一部変更し、「福島市中心市街地地区」(計画期間平成23～26年度)として都市再生整備計画を予定している。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

| 公表方法 | 具体的方法 | 公表期間・公表日 | 意見受付期間 | 意見の受付方法 | 担当部署 |
|--------------|--|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|
| インターネット | 市のホームページに掲載 | 平成22年11月11日～11月24日 | 平成22年11月11日～11月24日 | 担当課へ郵便、FAX、Eメールなど | 都市計画課(都市再生整備計画担当課) |
| 広報掲載・回覧・個別配布 | 市政だよりにて、ホームページ及び担当課窓口で原案を公表している旨を掲載 実施 | 平成22年11月1日 | — | | |
| 説明会・ワークショップ | — | — | — | | |
| その他 | 窓口閲覧 | 平成22年11月11日～11月24日 | 平成22年11月11日～11月24日 | | |

| | | | | | |
|-------|------|--|--|--|--|
| 住民の意見 | 意見なし | | | | |
|-------|------|--|--|--|--|

(6) 評価委員会の審議

添付様式8評価委員会の審議

| 委員構成 | | 実施時期 | 担当部署 | 委員会の設置根拠 | 委員会の母体組織 |
|-----------|----------------------------------|-------------|--------------------|-------------------------|---------------------|
| 学識経験のある委員 | 二瓶 由美子 桜の聖母短期大学准教授 | 平成22年12月20日 | 都市計画課(都市再生整備計画担当課) | 福島市社会資本整備総合交付金評価委員会設置要綱 | 福島市都市計画審議会、福島市景観審議会 |
| その他の委員 | 齋藤 貞雄 町内会連合会副会長 鈴木 深雪 福島県建築士会 | | | | |

| 審議事項※1 | 委員会の意見 |
|---------------------------|--|
| 事後評価手続き等にかかる審議 | |
| 方法書 | 方法書に従って、事後評価が適正に実施されたことが確認された。 |
| 成果の評価 | 指標2の「レンタサイクル利用者数」を補完する其他指標で、「駅までのアクセス時間」を揚げた理由について意見があった。(どちらの指標も、小目標2:「総合交通量の整備による安全で円滑な交通確保によりにぎわいの創出を図る」を達成するための、目標を定量化する指標であることを説明し委員の理解を得た。) |
| 実施過程の評価 | 特になし。 |
| 効果発現要因の整理 | 特になし。 |
| 事後評価原案の公表の妥当性 | 事後評価原案は、市民に分かりやすく公表されたことが確認された。 |
| その他 | 特になし。 |
| 事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認 | 事後評価の手続きは妥当であると認められた。 |
| 今後のまちづくりについて審議 | |
| 今後のまちづくり方策の作成 | 添付様式5-②、まちの課題の変化の達成されたことの表現として、「増加傾向にある」と言う表現が曖昧なため、「漸増している」に改めた方が良いとの意見があった。 添付様式5-③、効果を持続させるための基本的な考え方のまとめとして、公園は子どもだけが利用する物ではなく、子どもから高齢者まで幅広い世代が利用するため、市民の憩いの場としての公園整備とした方が望ましいとの意見があった。 |
| フォローアップ | 特になし。 |
| その他 | 特になし。 |
| 今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認 | 今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。 |
| その他 | 特になし。 |

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。